

KEYLEX®

プライベートモデル

PRIVATE MODEL



スリムなボディに機能を集約しました。
引戸にも対応可能なシリーズです。

KEYLEX®

800

自動施錠
面付本締錠
面付引戸鎌錠

両面ボタンタイプ

2 colors

● シルバー

● アンバー

番号組み合わせ

4,096通り

適応扉重量 40kg以下
標準扉厚 30～45mm

記憶番号
1～12桁まで
任意に設定可能

記憶番号の変更
ロックピン回転
方式

ハンドル

レバー式

ロックターン式

PAT
※写真は原寸です

KEYLEX® キーレックス 800 自動施錠

■材 質：亜鉛合金

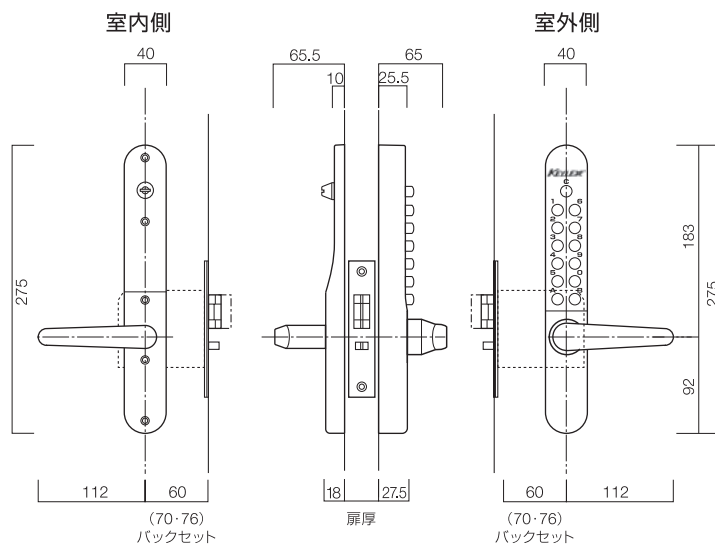
■仕 上：AS(シルバー)塗装/AB(アンバー)塗装

■標準扉厚：30~45mm 標準以外は扉厚をご指定ください。(特注扉厚45~60mm)



自動施錠(22823)

■製品図



22823

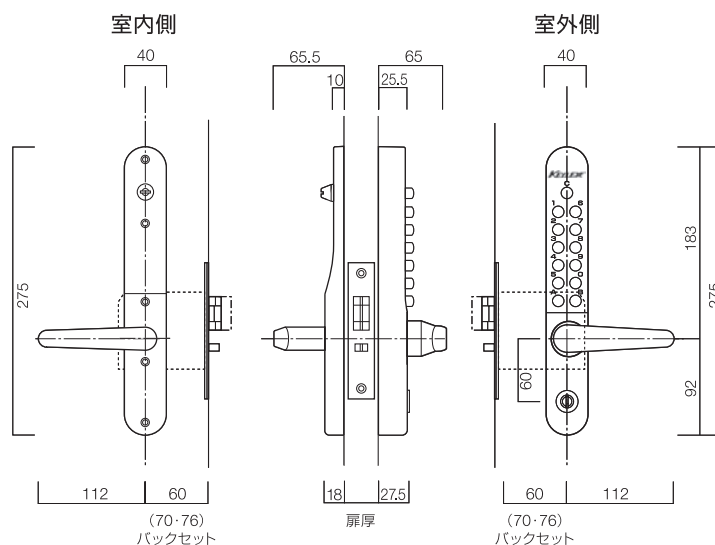
AS AB

鍵なし



自動施錠鍵付(22823M)

■製品図



22823M

AS AB

鍵つき

キーレックス800機能バリエーション
品番は見開きインデックスをご参照ください。

鍵なし 鍵のつかないタイプです。

鍵つき 鍵つきタイプです。(キー2本付)

両面 両面ボタンタイプです。

施錠の方法

- 自動施錠の場合
扉を閉めると自動的に
施錠されます。

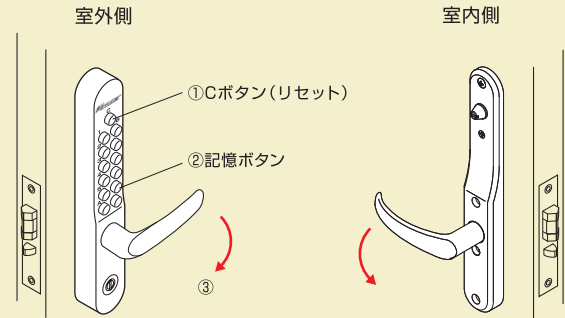
解錠の方法

室外側から

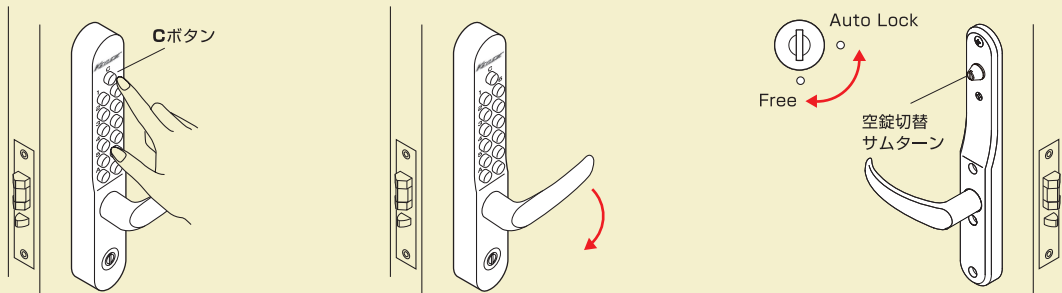
- ① Cボタンを押してリセットします。
- ② 記憶ボタンを押します。
- ③ レバーを下側に回して扉を開けます。

室内側から

- 自動施錠の場合
レバーを下側に回して扉を開けます。



空錠への切替 (扉を閉めても鍵がかからない状態[空錠]にできます。)



①Cボタンを押してから、記憶ボタンを押します。

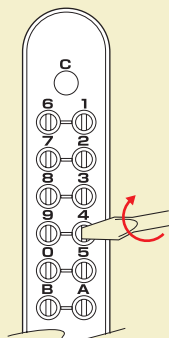
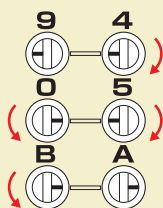
②室外側のレバーハンドルを解錠操作(矢印の方向)したままの状態にします。

③室内側の空錠切替サムターンを[Auto Lock]から[Free]にコイン等で回して切り替えます。

記憶番号の変更

ロックピンの横溝を、本体中央部のラインに合う様に、マイナスドライバーで合わせます。
(この操作は、室内側の空錠切替サムターンを「Auto Lock」にした状態で行ってください)

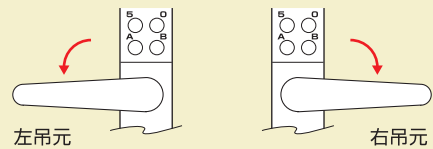
下図の記憶番号は
"450B"



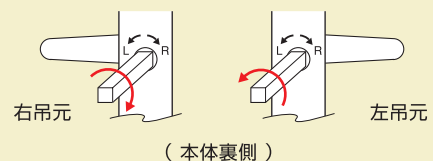
(本体裏側)

左右吊元*の変更

- ①レバーハンドルの向きを合わせ、固定します。



- ②下図の様に、角芯棒を止まる位置まで回します。



(本体裏側)

*錠は、ラッチ・トリガーの形状が左右対称で吊元変更の必要はありません。

KEYLEX® キーレックス 800 面付本締錠／面付引戸鎌錠

■材 質：亜鉛合金

■仕 上：AS(シルバー)塗装／AB(アンバー)塗装

■標準扉厚：30～45mm 標準以外は扉厚をご指定ください。(特注扉厚45～60mm)

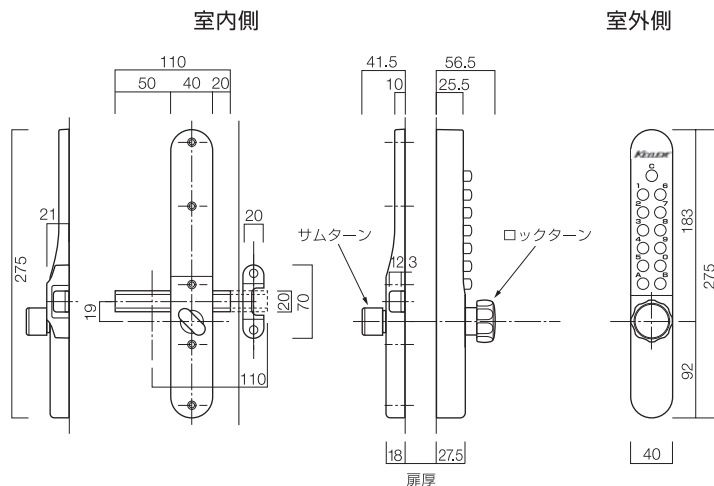


面付本締錠
AB(アンバー)塗装

室内側

面付本締錠(22804)

■製品図



AS AB

鍵なし

22804

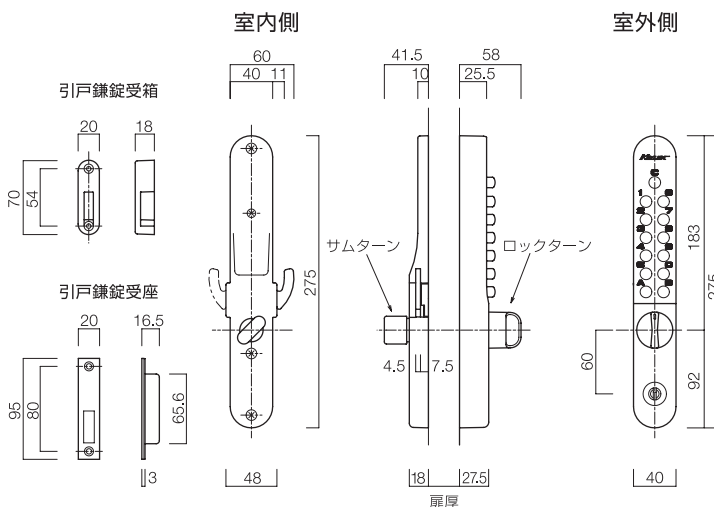


面付引戸鎌錠鍵付
AS(シルバー)塗装

室内側

面付引戸鎌錠鍵付(22805M)

■製品図



AS AB

鍵つき

22805M

キーレックス800機能バリエーション
品番は見開きインデックスをご参照ください。

鍵なし 鍵のつかないタイプです。

鍵つき 鍵つきタイプです。(キー2本付)

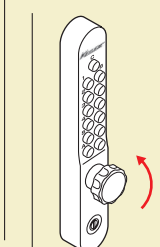
両面 両面ボタンタイプです。

施錠の方法

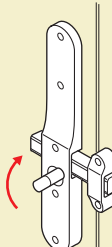
室外側から

ロックターン*を丁番*と反対側に回すと施錠されます。

室外側



室内側



室内側から

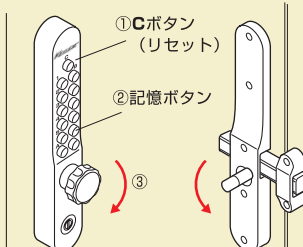
サムターン*を丁番*と反対側に回すと施錠されます。

解錠の方法

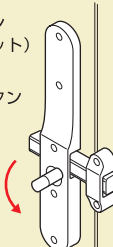
室外側から

- ① Cボタンを押してリセットします。
- ② 記憶ボタンを押します。
- ③ ロックターンを丁番側に回して扉を開けます。

室外側



室内側

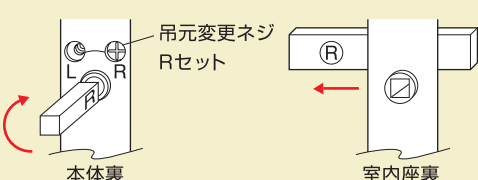


室内側から

サムターンを丁番側に回して扉を開けます。

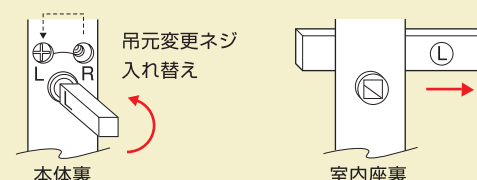
左右吊元*の変更

● 右吊元 (工場出荷時標準セット)



- ① 本体裏面R穴部に吊元変更ネジがセットされていることを確認します。
- ② 吊元変更ネジをR部に固定したまま(ロックターンにて固定)、角芯棒を右回転しR-Rにセットします。
- ③ 室内座側デッドを(R)にセットし、取り付ける。

● 左吊元 (現地にて変更願います)

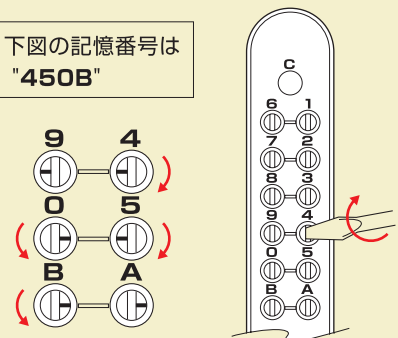


- ① 本体裏面の吊元変更ネジをR→Lに変更し、しっかり固定します。
- ② 吊元変更ネジをL部に固定したまま(ロックターンにて固定)、角芯棒を左回転しL-Lにセットします。
- ③ 室内座側デッドを(L)にセットし、取り付ける。

記憶番号の変更

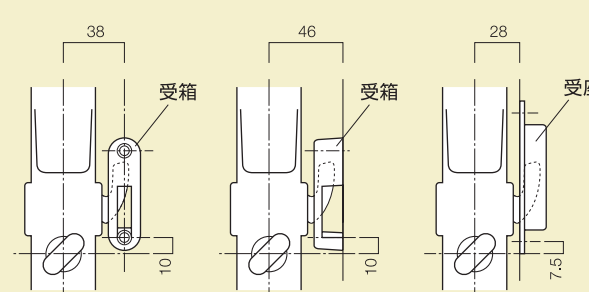
ロックピンの横溝を、本体中央部のラインに合う様に、マイナスドライバーで合わせます。

下図の記憶番号は
"450B"



(本体裏側)

面付引戸鎌錠* 受箱*・受座* 使用例



*マークの用語については、巻末(P66・67)の用語集をご覧ください。